

食品ロスの認知度と取組状況に関する調査

調査目的：「食品ロス」問題に関する 県民の認知度や意識について、現状を把握するため。

期 間：令和7年9月25日～令和7年10月9日

調査対象：ながさきWEB県政アンケートモニター（345名）

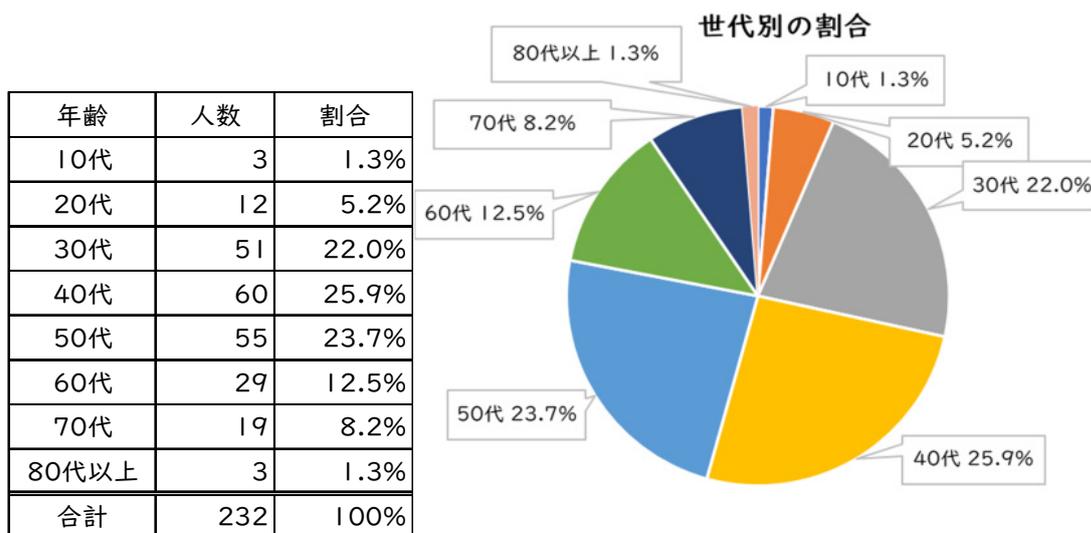
回答状況：232名（回答率67.2%）

担 当 課：長崎県資源循環推進課

※小数点以下第1位を四捨五入しているため、100%にならない場合があります。

■回答者の属性

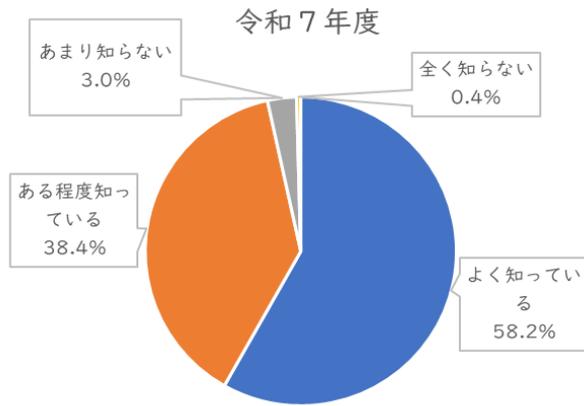
【年齢構成比率】



Q1. あなたは、「食品ロス」が問題となっていることを知っていますか。

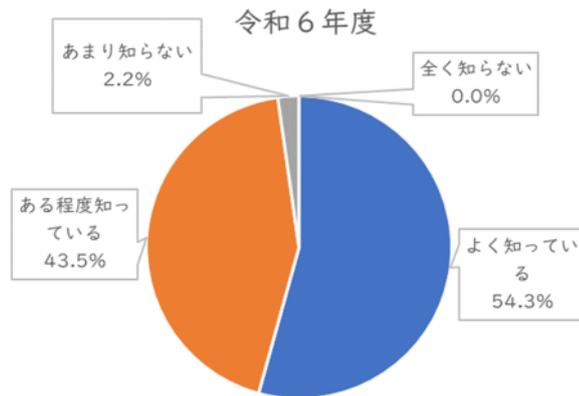
令和7年度

選択肢	回答者数	割合
よく知っている	135	58.2%
ある程度知っている	89	38.4%
あまり知らない	7	3.0%
全く知らない	1	0.4%
合計	232	100%



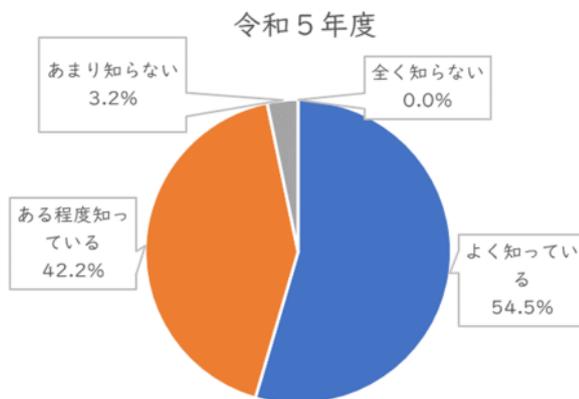
令和6年度

選択肢	回答者数	割合
よく知っている	146	54.3%
ある程度知っている	117	43.5%
あまり知らない	6	2.2%
全く知らない	0	0.0%
合計	269	100%



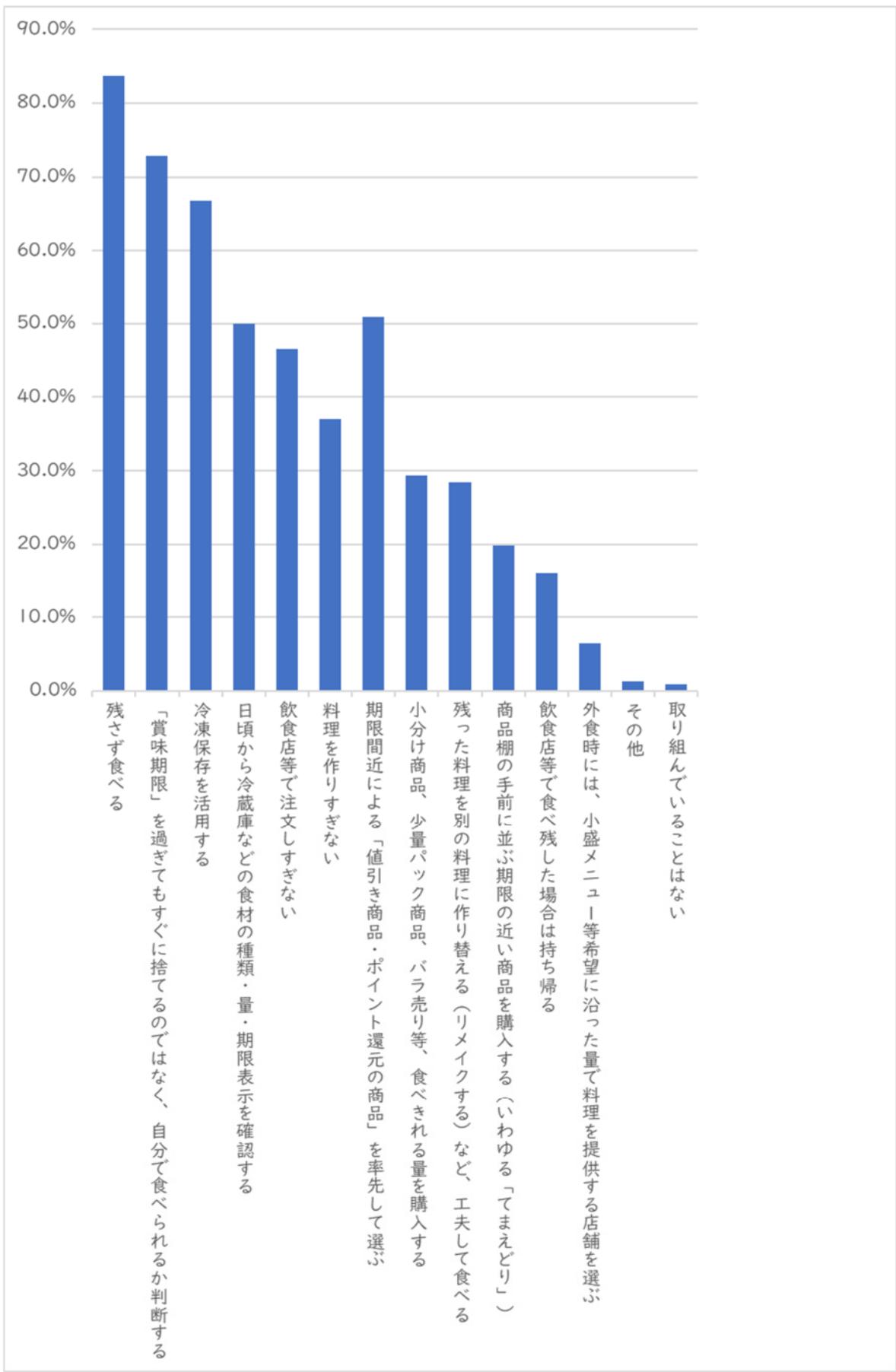
令和5年度

選択肢	回答者数	割合
よく知っている	151	54.5%
ある程度知っている	117	42.2%
あまり知らない	9	3.2%
全く知らない	0	0.0%
合計	277	100%



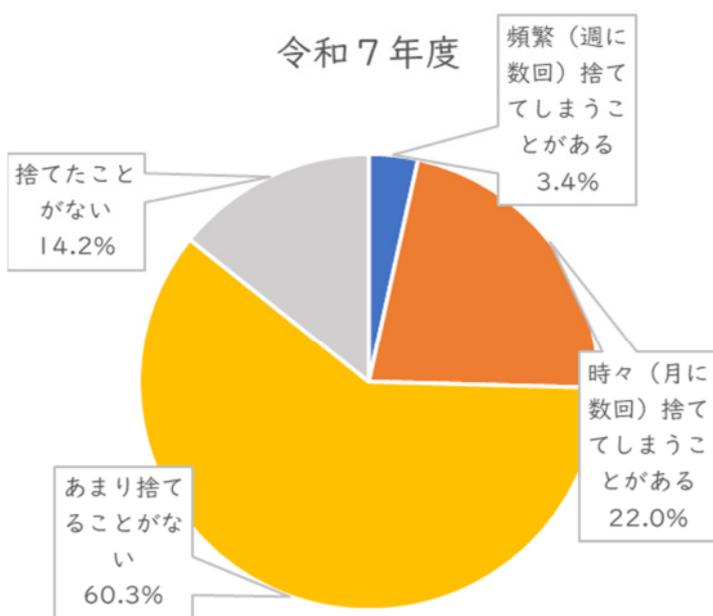
Q2. あなたは「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。(複数回答可)

選択肢	回答者数	割合
		R7
残さず食べる	194	83.6%
「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	169	72.8%
冷凍保存を活用する	155	66.8%
日頃から冷蔵庫などの食材の種類・量・期限表示を確認する	116	50.0%
飲食店等で注文しすぎない	108	46.6%
料理を作りすぎない	86	37.1%
期限間近による「値引き商品・ポイント還元の商品」を率先して選ぶ	118	50.9%
小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べきれる量を購入する	68	29.3%
残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）など、工夫して食べる	66	28.4%
商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する（いわゆる「てまえどり」）	46	19.8%
飲食店等で食べ残した場合は持ち帰る	37	15.9%
外食時には、小盛メニュー等希望に沿った量で料理を提供する店舗を選ぶ	15	6.5%
その他	3	1.3%
取り組んでいることはない	2	0.9%
<p><その他の回答></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べきれずに残ったものは、捨てることなく冷蔵庫に保存し、すべて食べきることでムダゼロを心掛けている ・必要なもの以外、購入しない。 ・1週間分の食事のおおよそのメニューを考え、食材を購入する 		



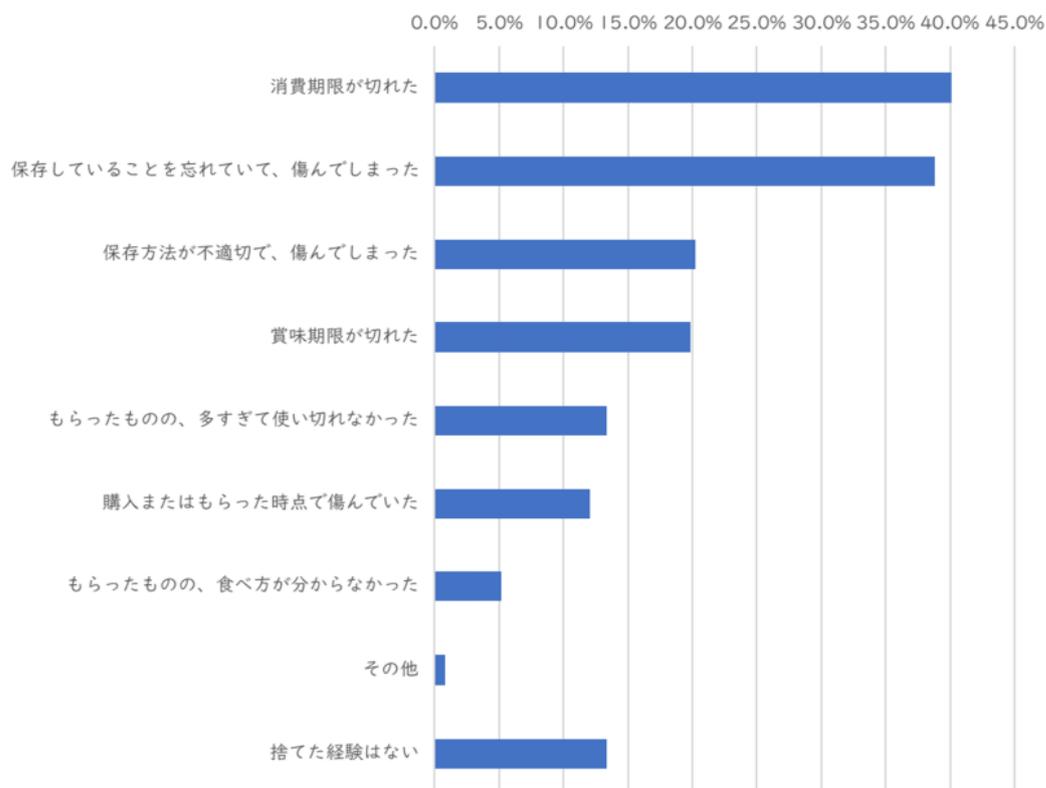
Q3. あなたは普段の生活でまだ食べることができる食品を捨ててしまうことがありますか。

選択肢	回答者数	割合
頻繁（週に数回）捨ててしまうことがある	8	3.4%
時々（月に数回）捨ててしまうことがある	51	22.0%
あまり捨てることがない	140	60.3%
捨てたことがない	33	14.2%
合計	232	100%



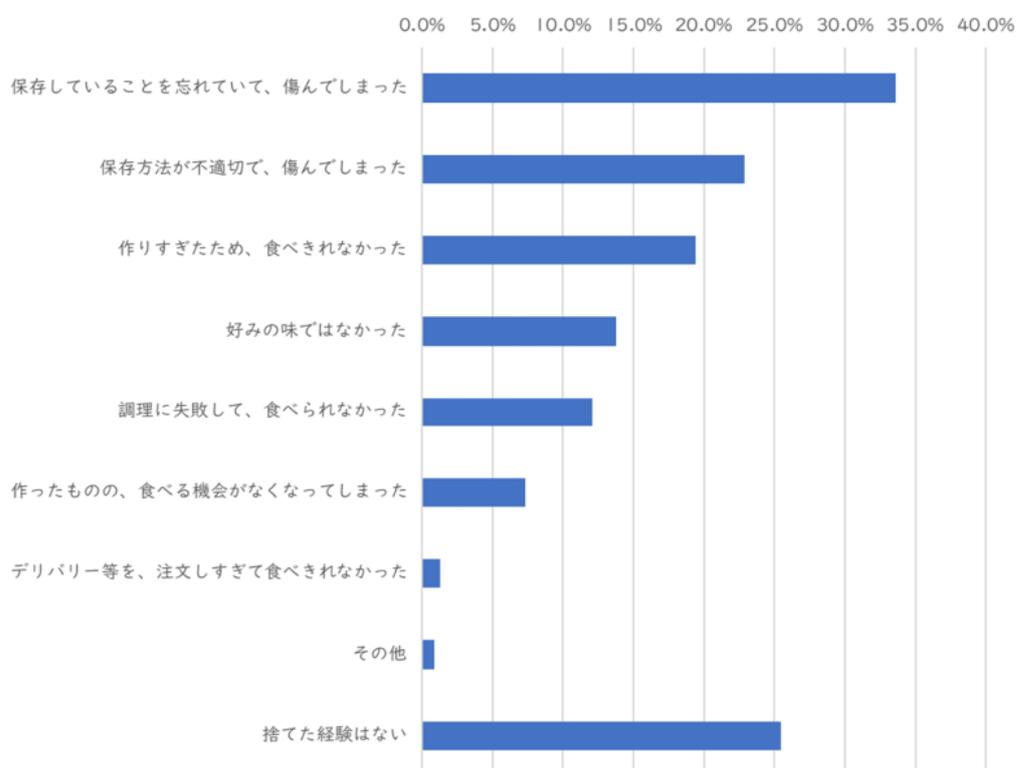
Q 4. 未開封・未使用の食材・食品を捨ててしまったことはありますか。捨ててしまった際の理由を教えてください。

選択肢	回答者数	割合
		R7
消費期限が切れた	93	40.1%
保存していることを忘れていて、傷んでしまった	90	38.8%
保存方法が不適切で、傷んでしまった	47	20.3%
賞味期限が切れた	46	19.8%
もらったものの、多すぎて使い切れなかった	31	13.4%
購入またはもらった時点で傷んでいた	28	12.1%
もらったものの、食べ方が分からなかった	12	5.2%
その他	2	0.9%
捨てた経験はない	31	13.4%
<その他回答> ・子どもがもらったもので絶対に口にはして欲しくない添加物だらけだったから。 ・カビが生えていた		



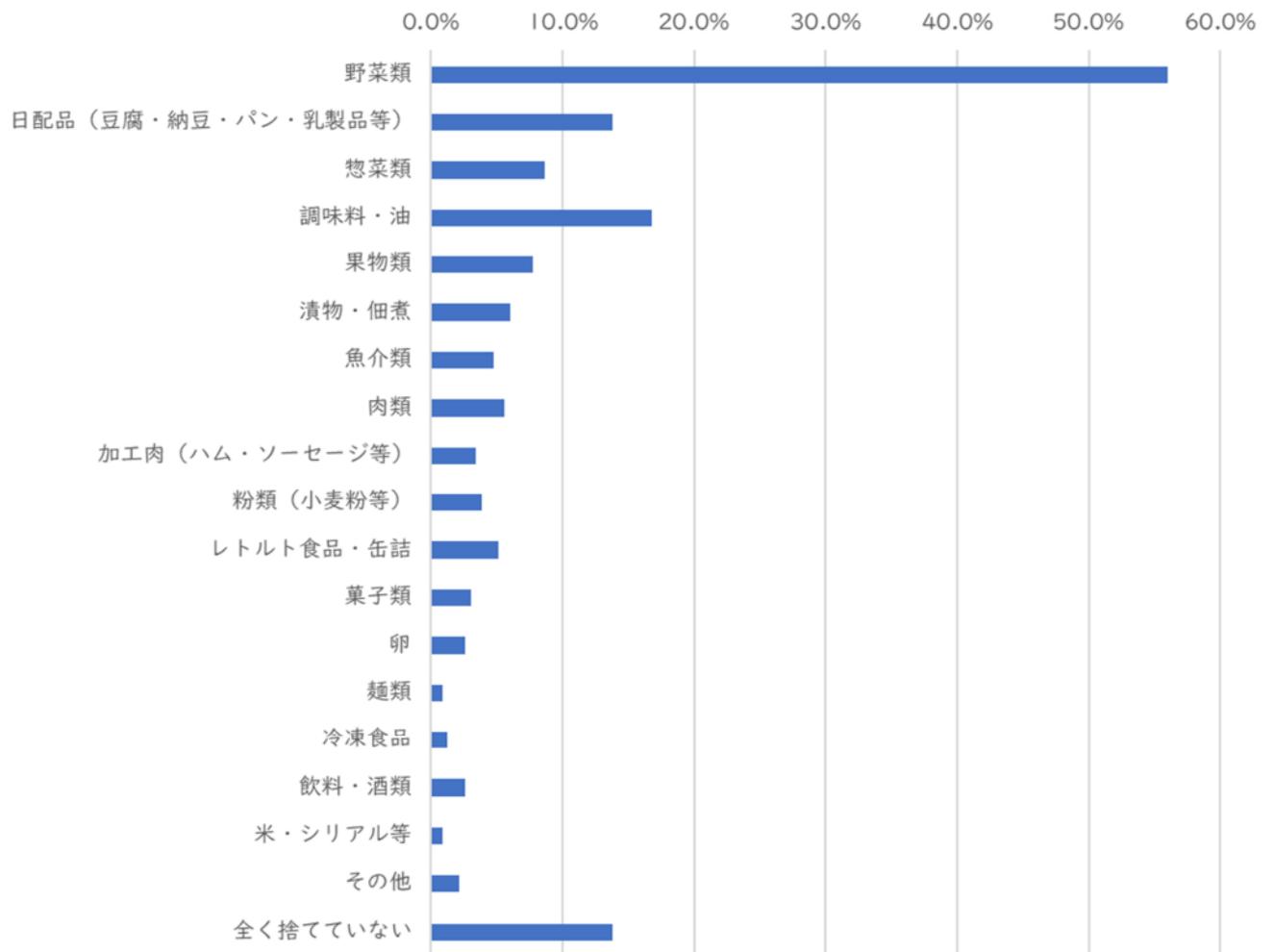
Q5. 料理を食べ残して捨ててしまったことはありますか。捨ててしまった際の理由を教えてください。

選択肢	回答者数	割合
		R7
保存していることを忘れていて、傷んでしまった	78	33.6%
保存方法が不適切で、傷んでしまった	53	22.8%
作りすぎたため、食べきれなかった	45	19.4%
好みの味ではなかった	32	13.8%
調理に失敗して、食べられなかった	28	12.1%
作ったものの、食べる機会がなくなってしまった	17	7.3%
デリバリー等を、注文しすぎて食べきれなかった	3	1.3%
その他	2	0.9%
捨てた経験はない	59	25.4%
<その他回答> ・体調を悪くして食べる機会を失ってしまった。 ・病気の人の食べ残したものだから。		



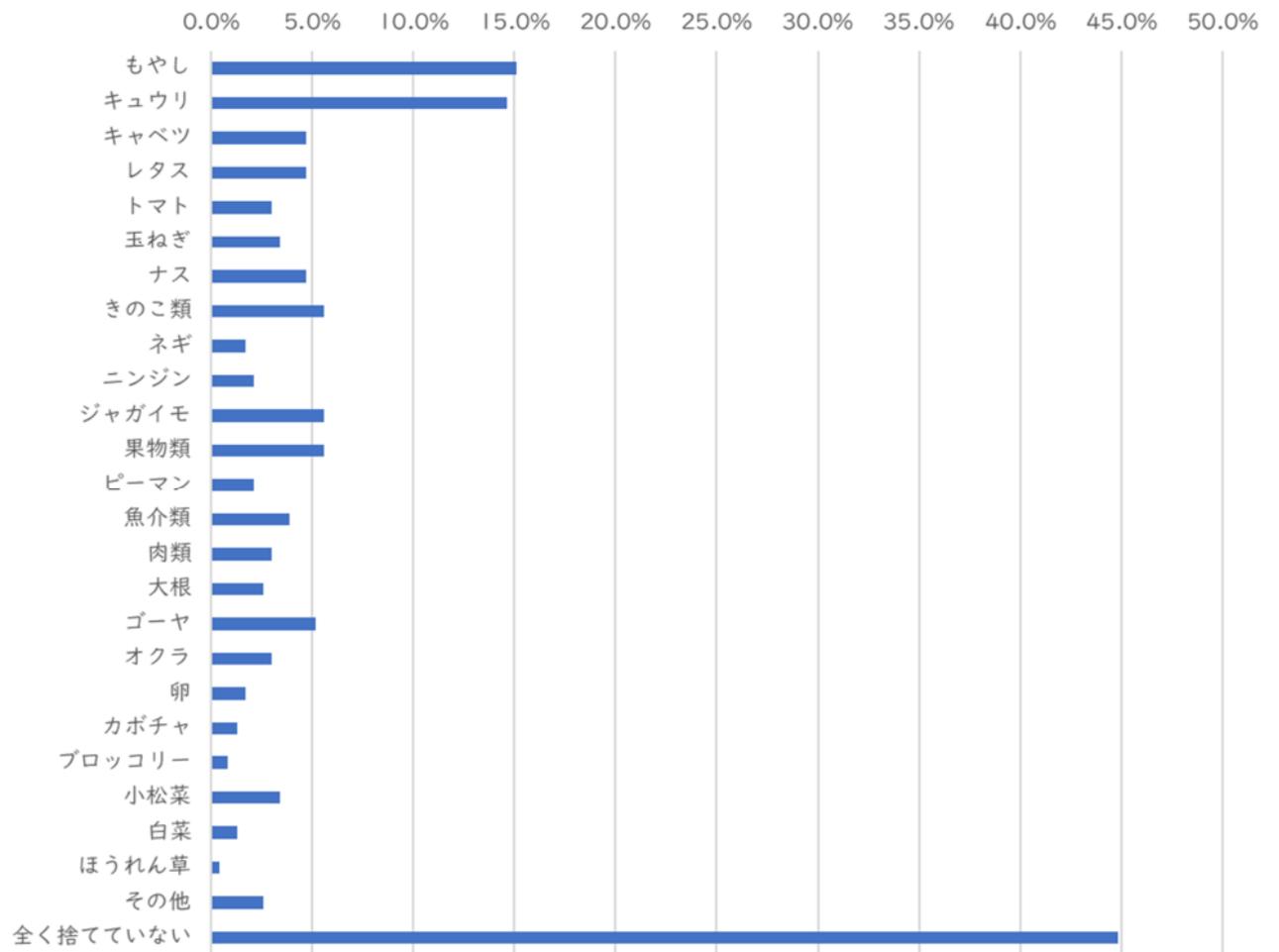
Q6. あなたが家庭で捨ててしまいがちな食品を全てお選びください。(複数回答)

選択肢	回答者数	割合
		R7
野菜類	130	56.0%
日配品(豆腐・納豆・パン・乳製品等)	32	13.8%
惣菜類	20	8.6%
調味料・油	39	16.8%
果物類	18	7.8%
漬物・佃煮	14	6.0%
魚介類	11	4.7%
肉類	13	5.6%
加工肉(ハム・ソーセージ等)	8	3.4%
粉類(小麦粉等)	9	3.9%
レトルト食品・缶詰	12	5.2%
菓子類	7	3.0%
卵	6	2.6%
麺類	2	0.9%
冷凍食品	3	1.3%
飲料・酒類	6	2.6%
米・シリアル等	2	0.9%
その他	5	2.2%
全く捨てていない	32	13.8%
<その他回答> ・子どもの食べ残し、液体系の調味料など		



Q7. 直近1か月の間に捨ててしまった生鮮食品を全てお選びください。(複数回答)

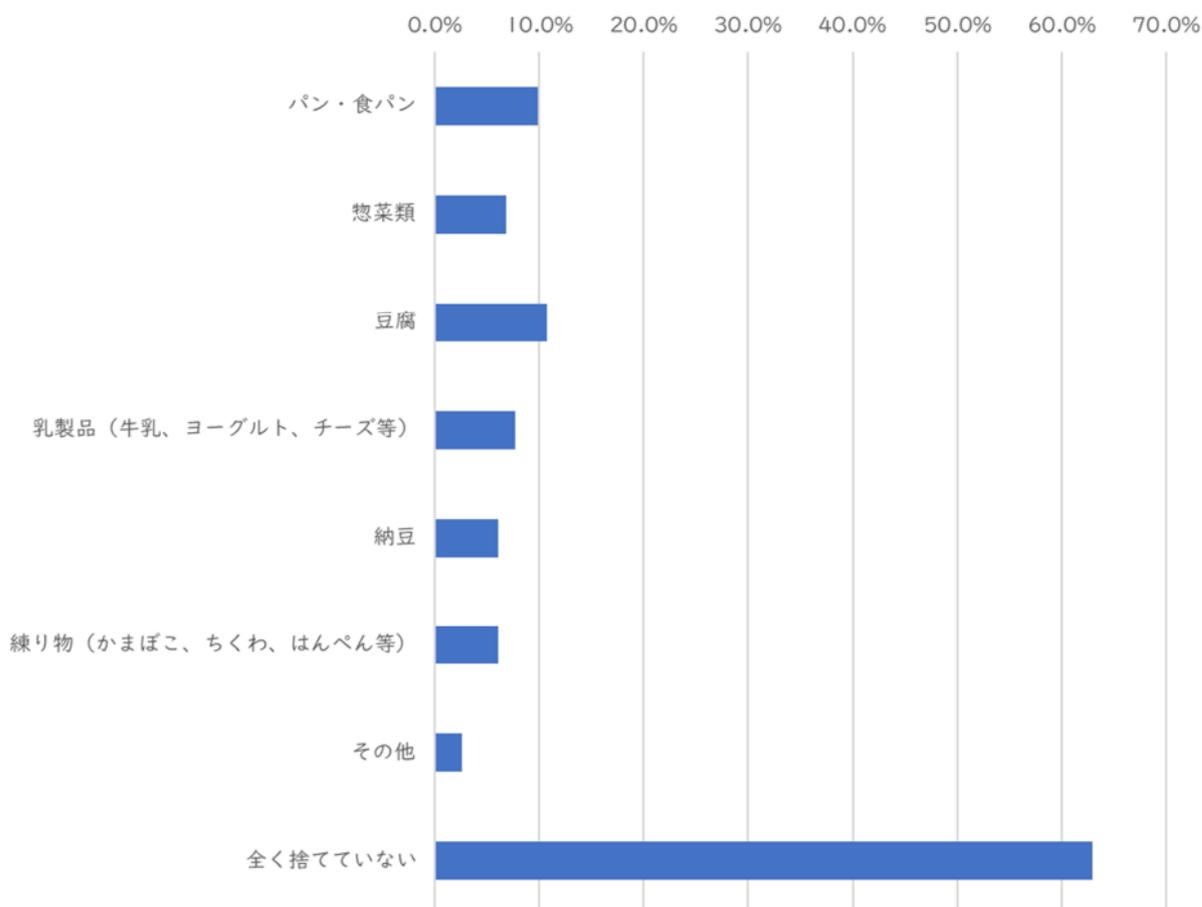
選択肢	回答者数	割合
		R7
もやし	35	15.1%
キュウリ	34	14.7%
キャベツ	11	4.7%
レタス	11	4.7%
トマト	7	3.0%
玉ねぎ	8	3.4%
ナス	11	4.7%
きのこ類	13	5.6%
ネギ	4	1.7%
ニンジン	5	2.2%
ジャガイモ	13	5.6%
果物類	13	5.6%
ピーマン	5	2.2%
魚介類	9	3.9%
肉類	7	3.0%
大根	6	2.6%
ゴーヤ	12	5.2%
オクラ	7	3.0%
卵	4	1.7%
カボチャ	3	1.3%
ブロッコリー	2	0.9%
小松菜	8	3.4%
白菜	3	1.3%
ほうれん草	1	0.4%
その他	6	2.6%
全く捨てていない	104	44.8%
<その他回答> ・梨、ごぼう、りんご、さつまいもなど		



Q8. 直近1か月の間に捨ててしまった日配品を全てお選びください。(複数回答)

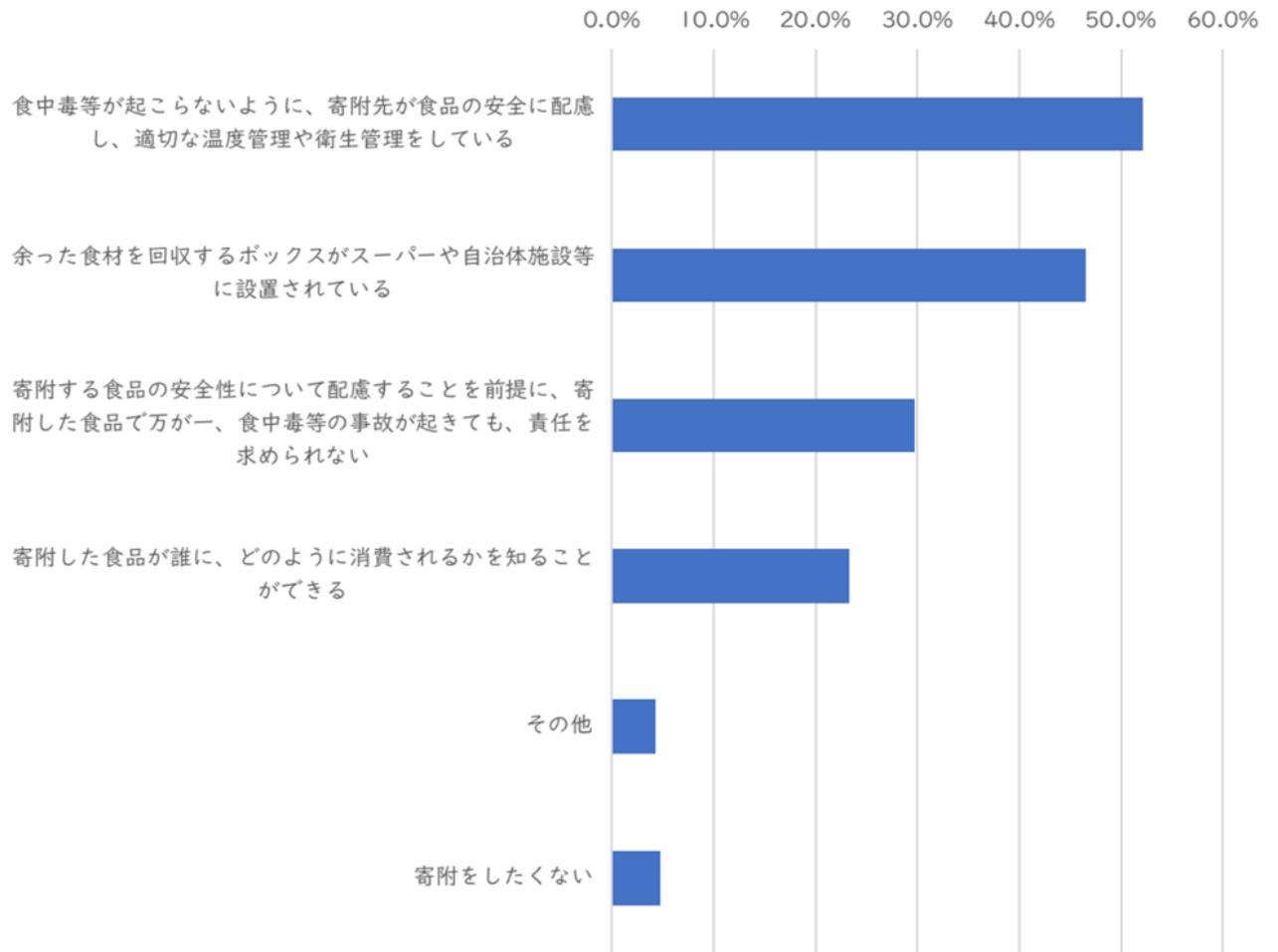
日配品・・・毎日店舗に配送される、比較的賞味期限の短い商品

選択肢	回答者数	割合
		R7
パン・食パン	23	9.9%
惣菜類	16	6.9%
豆腐	25	10.8%
乳製品(牛乳、ヨーグルト、チーズ等)	18	7.8%
納豆	14	6.0%
練り物(かまぼこ、ちくわ、はんぺん等)	14	6.0%
その他	6	2.6%
全く捨てていない	146	62.9%
<その他回答> ・キムチ、ハム、餡バターなど		



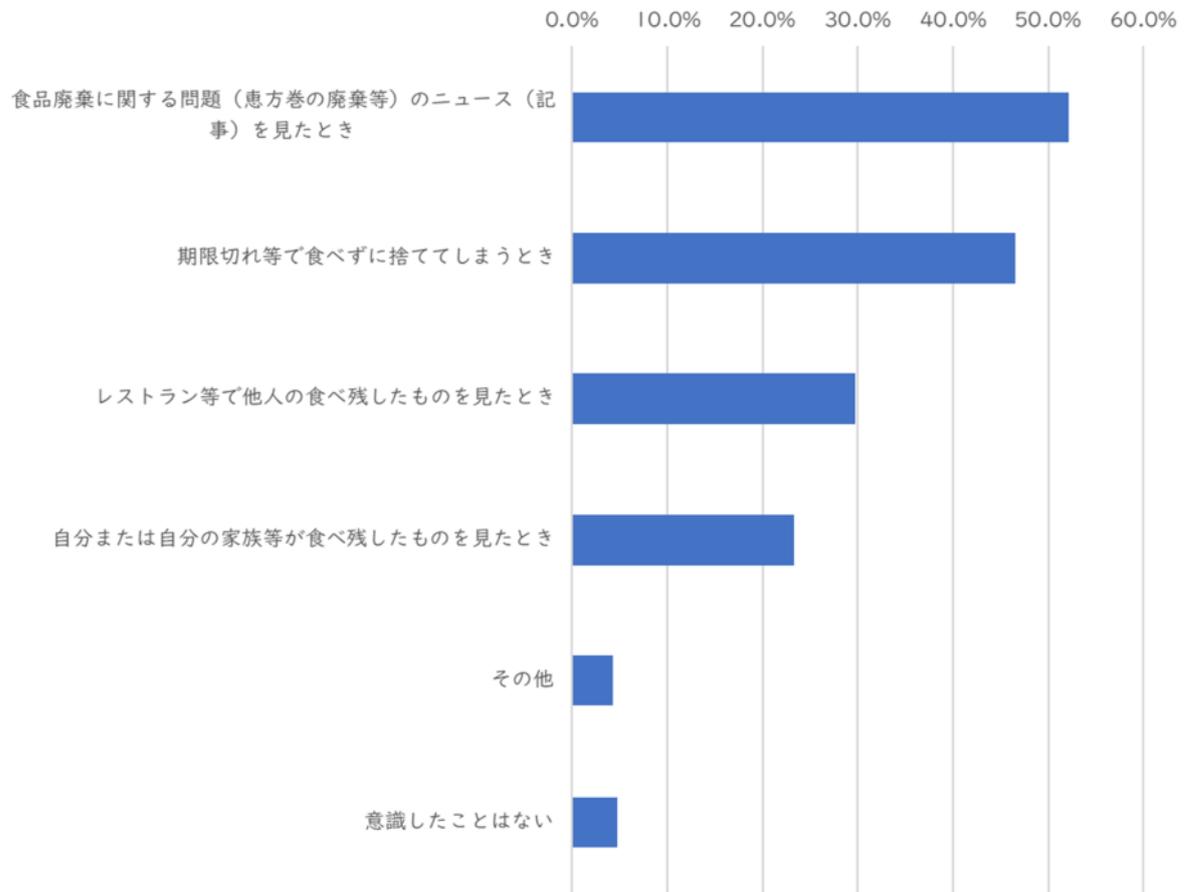
Q9. より多くの方が家庭で余った食品の寄附を実施するためにはあなたはどの取組が効果的だと思いますか。

選択肢	回答者数	割合
		R7
食中毒等が起こらないように、寄附先が食品の安全に配慮し、適切な温度管理や衛生管理をしている	121	52.2%
余った食材を回収するボックスがスーパーや自治体施設等に設置されている	108	46.6%
寄附する食品の安全性について配慮することを前提に、寄附した食品で万が一、食中毒等の事故が起きても、責任を求められない	69	29.7%
寄附した食品が誰に、どのように消費されるかを知ることができる	54	23.3%
その他	10	4.3%
寄附をしたくない	11	4.7%
<p><その他回答></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食中毒の事や安全面を考えると管理が難しいと感じます。きちんとルールを明確に、そして管理できる方法が決まれば良いと思います。 ・寄附者が当該食品を購入した日を分かる範囲で明示すべきだと思う。 ・食料品購入時に、その場で寄附。そのお店が、代わって食品を提供。寄附者が、持ち込み等の運搬の必要なく、品質性向上。 ・余った食品を寄附とは、あまり良い考え方ではありません。 ・寄附時点で賞味期限がヶ月以上残っているなどの期限があるのが難しい。 ・乾物を寄附するのは抵抗がないけれど、生鮮食料品の寄附は出来そうにない。なので、個人的には傷ませないように、古くならないように考えて購入し、使用するよう努めている。 ・寄附の流れがわからない ・とにかく買いすぎない ・寄附できるほど、購入していない。 		



Q10. あなたは、食生活の中で「もったいない」を意識したことはありますか。

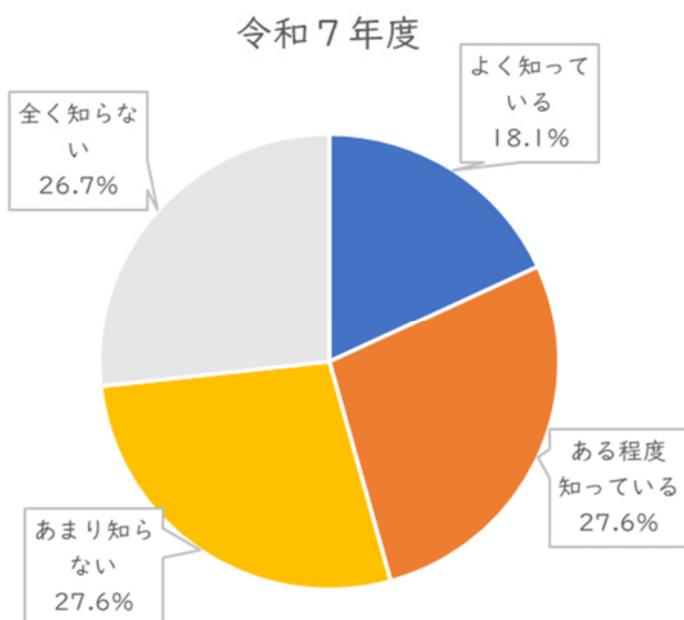
選択肢	回答者数	割合
		R7
食品廃棄に関する問題（恵方巻の廃棄等）のニュース（記事）を見たとき	121	52.2%
期限切れ等で食べずに捨ててしまうとき	108	46.6%
レストラン等で他人の食べ残したのを見たとき	69	29.7%
自分または自分の家族等が食べ残したのを見たとき	54	23.3%
その他	10	4.3%
意識したことはない	11	4.7%
<p><その他回答></p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理後の煮汁を捨てずに何か他の料理に活用できないか毎日考える。 ・スーパーで賞味期限間近の商品を特売していることがありますが、それでも売れ残っているのを見たとき。 ・給食の余分な食材（検食以外） ・ニュースなど、余った食材がどのくらい廃棄されているか情報はほとんどないのでわからない。 ・テレビで大食いや食べ物を粗末にする番組を見たとき。宴席でたくさんの食べ物が残ったとき。 ・バイト先で残ったものを廃棄するとき。 ・祭りやイベント時に捨ててある食品を見たとき。 ・”転売ヤーがグッツの為に買いためをして食品を残すこと”や利益のために仕方ありませんが、スーパーやコンビニなどのおにぎりなどの消費期限が短く廃棄になること 		



Q11. あなたは、食品ロスを削減することは、エシカル消費の一つであることを知っていますか。

エシカル消費・・・環境にやさしく、人や社会等の配慮にもつなげる消費行動

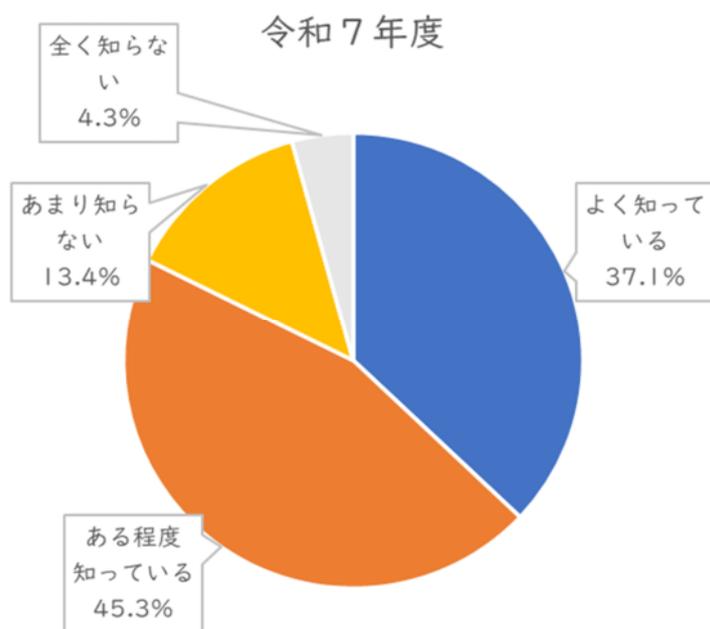
選択肢	回答者数	割合
よく知っている	42	18.1%
ある程度知っている	64	27.6%
あまり知らない	64	27.6%
全く知らない	62	26.7%
合計	232	100%



Q12. あなたは、食品ロスを削減することは、SDGsの一つであることを知っていますか。

SDGs・・・持続可能な開発目標

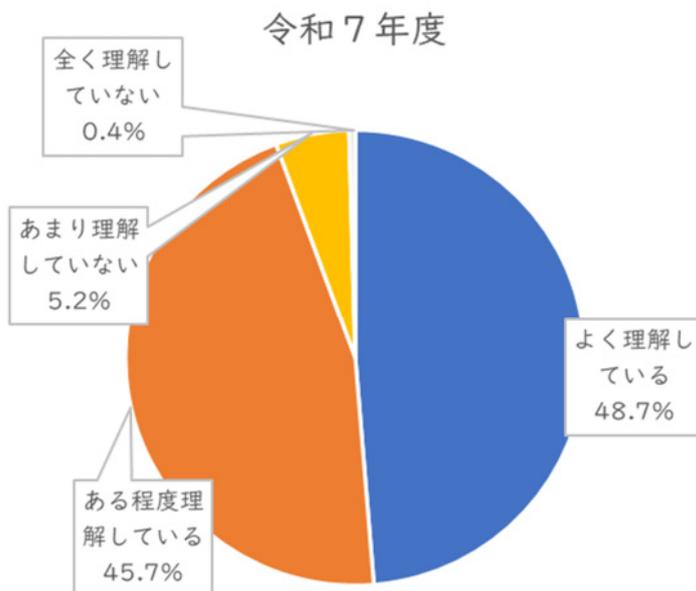
選択肢	回答者数	割合
よく知っている	86	37.1%
ある程度知っている	105	45.3%
あまり知らない	31	13.4%
全く知らない	10	4.3%
合計	232	100%



Q13. 「賞味期限」・「消費期限」を正しく理解していますか。

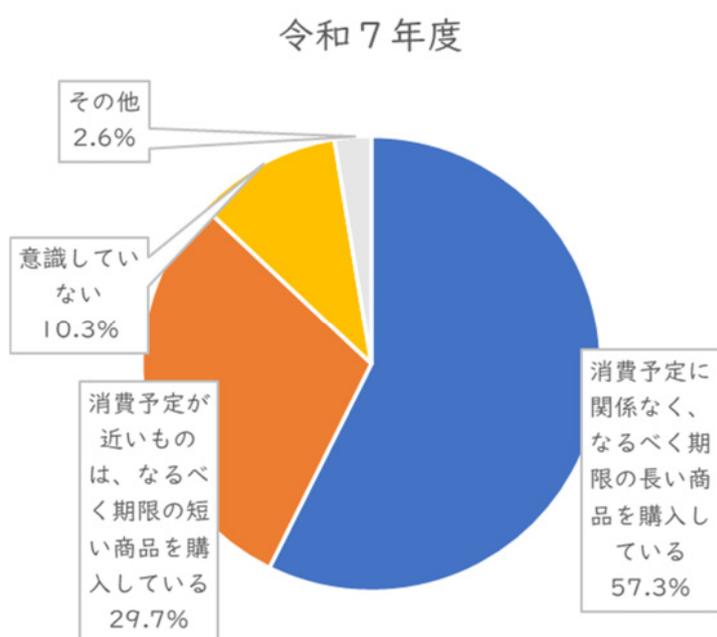
「賞味期限」とはおいしく食べられる期限、「消費期限」とは安全に食べられる期限のことをいいます。

選択肢	回答者数	割合
よく理解している	113	48.7%
ある程度理解している	106	45.7%
あまり理解していない	12	5.2%
全く理解していない	1	0.4%
合計	232	100%



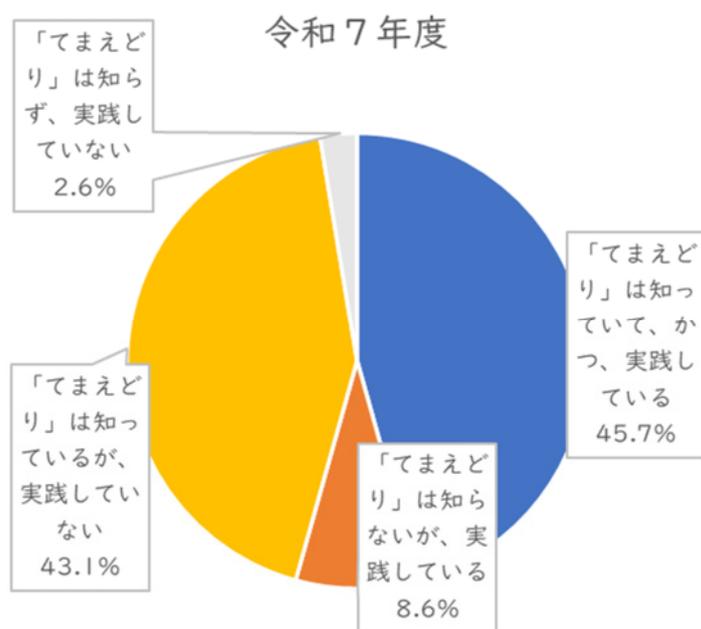
Q14. あなたは食品を購入する際に賞味・消費期限を意識していますか。

選択肢	回答者数	割合
消費予定に関係なく、なるべく期限の長い商品を購入している	133	57.3%
消費予定が近いものは、なるべく期限の短い商品を購入している	69	29.7%
意識していない	24	10.3%
その他	6	2.6%
合計	232	100%



Q15. 棚の手前から商品をとる「てまえどり」についてお聞きします。

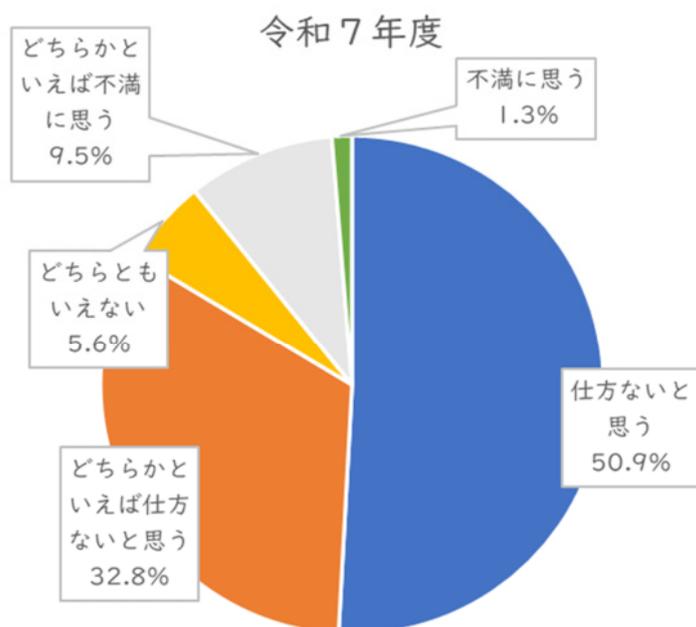
選択肢	回答者数	割合
「てまえどり」は知っていて、かつ、実践している	106	45.7%
「てまえどり」は知らないが、実践している	20	8.6%
「てまえどり」は知っているが、実践していない	100	43.1%
「てまえどり」は知らず、実践していない	6	2.6%
合計	232	100%



Q16. 食品の欠品（売り切れ）についてお聞きします。

あなたは日常の買い物をしている小売店（スーパー等）において、普段購入している惣菜などの食品に欠品（売り切れ）が生じていた場合に、どのように思いますか。

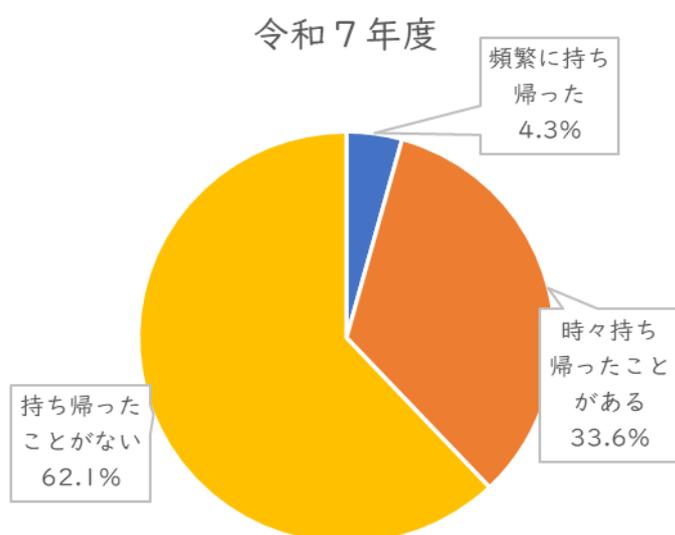
選択肢	回答者数	割合
仕方ないと思う	118	50.9%
どちらかといえば仕方ないと思う	76	32.8%
どちらともいえない	13	5.6%
どちらかといえば不満に思う	22	9.5%
不満に思う	3	1.3%
合計	232	100%



Q17. 直近1年間の持ち帰りについてお聞きします。

飲食店で食べきれなかった料理を持ち帰り用パック等を使って持ち帰ったことはありますか。

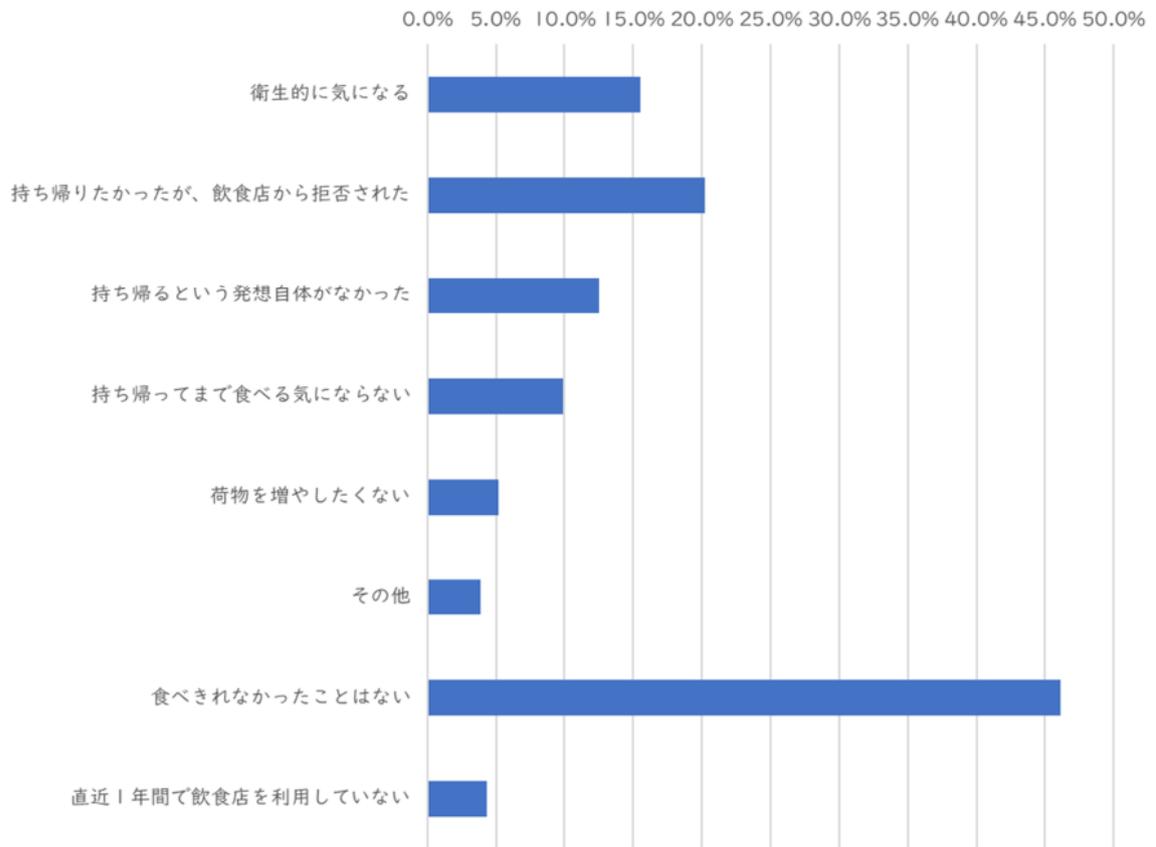
選択肢	回答者数	割合
頻繁に持ち帰った	10	4.3%
時々持ち帰ったことがある	78	33.6%
持ち帰ったことがない	144	62.1%
合計	232	100%



Q18. 直近1年間の持ち帰らなかった理由についてお聞きします。

飲食店で食べきれなかった料理を持ち帰らなかった際の理由を教えてください。

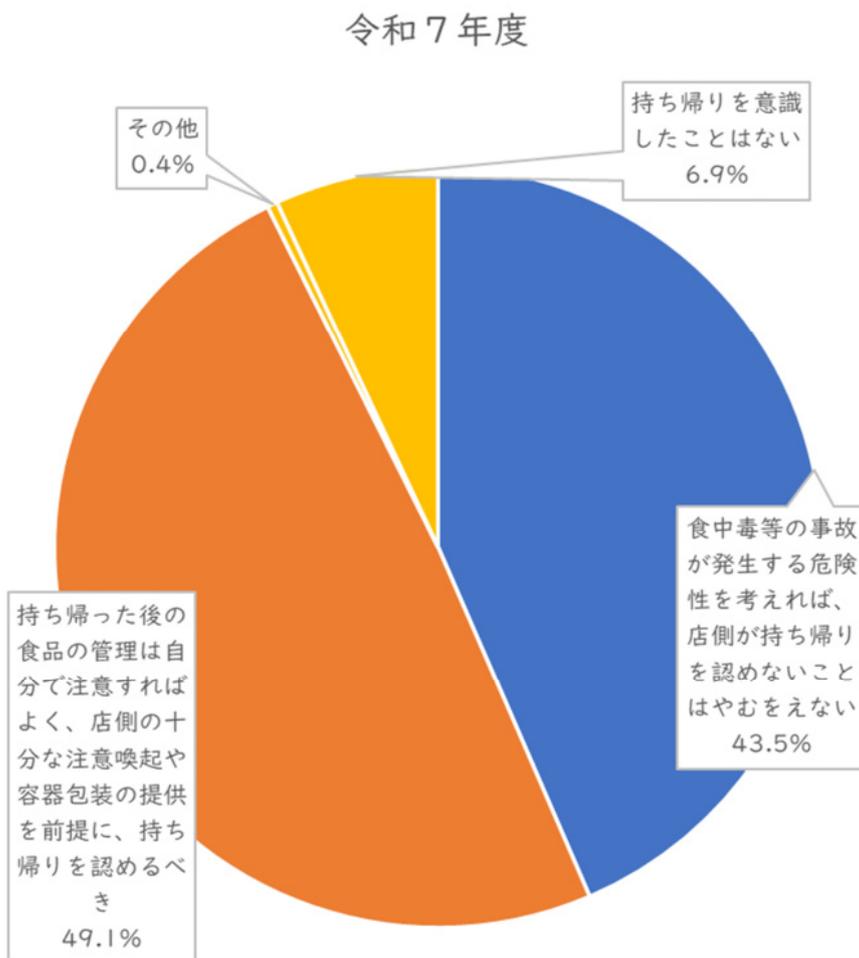
選択肢	回答者数	割合
		R7
衛生的に気になる	36	15.5%
持ち帰りたかったが、飲食店から拒否された	47	20.3%
持ち帰るという発想自体がなかった	29	12.5%
持ち帰ってまで食べる気にならない	23	9.9%
荷物を増やしたくない	12	5.2%
その他	9	3.9%
食べきれなかったことはない	107	46.1%
直近1年間で飲食店を利用していない	10	4.3%
<その他回答> ・店舗によっては持ち帰り不可。 ・飲食店に行かないから。 ・食べる量を考えて注文している。 ・衛生上断れると思ひ確認しないから など		



Q19. 飲食店で食べきれなかった料理を持ち帰ることについてお聞きします。

飲食店側は、持ち帰った以降の不適切な管理によって食中毒等の事故が発生することを危惧し、持ち帰りを認めないことがあります。こうした店側の対応について、あなたはどのように思いますか。

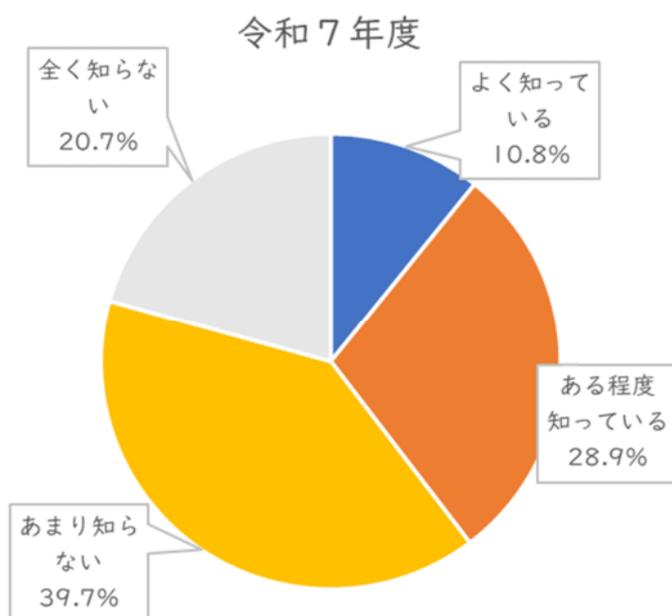
選択肢	回答者数	割合
食中毒等の事故が発生する危険性を考えれば、店側が持ち帰りを認めないことはやむをえない	101	43.5%
持ち帰った後の食品の管理は自分で注意すればよく、店側の十分な注意喚起や容器包装の提供を前提に、持ち帰りを認めるべき	114	49.1%
その他	1	0.4%
持ち帰りを意識したことはない	16	6.9%
合計	232	100%



Q20. 食品関連事業者、食品リサイクル法についてお聞きします。

食品関連事業者（食品製造業者、スーパー、飲食店、ホテル、結婚式場等）は食品リサイクル法（2001年～）に基づき、食品廃棄物の発生を抑制し、やむを得ず発生してしまった場合はリサイクル（肥料化・飼料化等）に努めることが義務付けられていることを知っていますか。

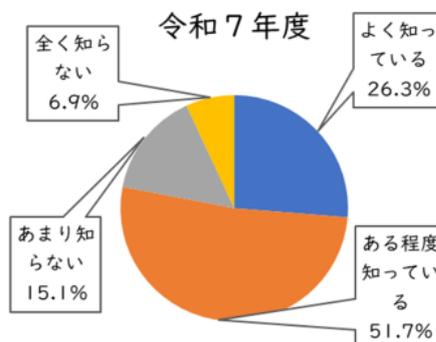
選択肢	回答者数	割合
よく知っている	25	10.8%
ある程度知っている	67	28.9%
あまり知らない	92	39.7%
全く知らない	48	20.7%
合計	232	100%



Q21. あなたはフードバンク活動を知っていますか。

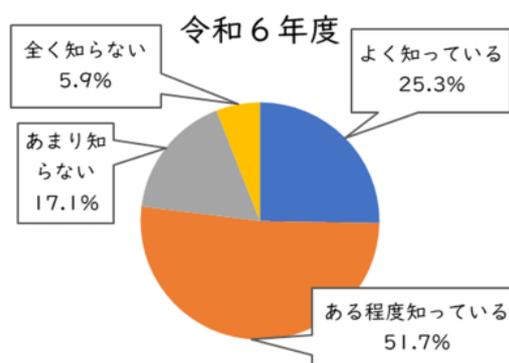
令和7年度

選択肢	回答者数	割合
よく知っている	61	26.3%
ある程度知っている	120	51.7%
あまり知らない	35	15.1%
全く知らない	16	6.9%
合計	232	100.0%



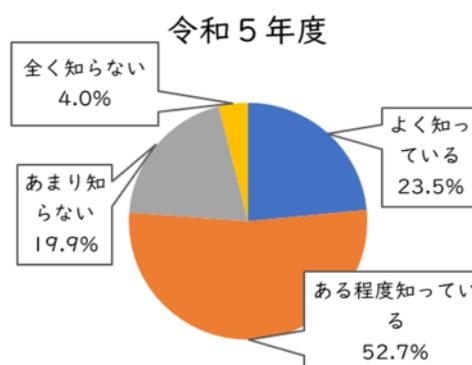
令和6年度

選択肢	回答者数	割合
よく知っている	68	25.3%
ある程度知っている	139	51.7%
あまり知らない	46	17.1%
全く知らない	16	5.9%
合計	269	100.0%



令和5年度

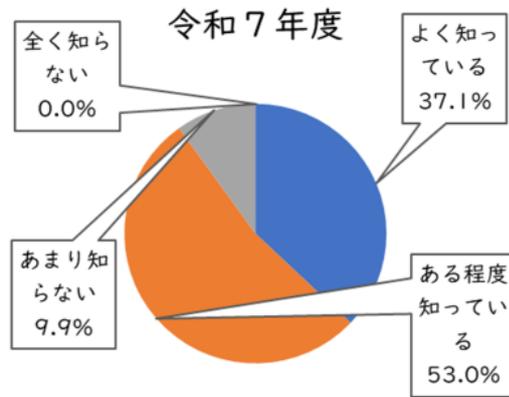
選択肢	回答者数	割合
よく知っている	65	23.5%
ある程度知っている	146	52.7%
あまり知らない	55	19.9%
全く知らない	11	4.0%
合計	277	100.0%



Q 2 2. あなたは子ども食堂を知っていますか。

令和7年度

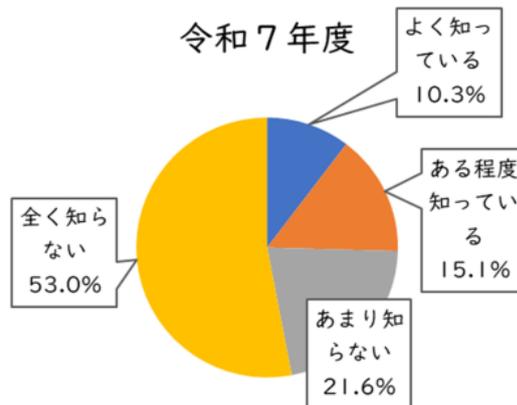
選択肢	回答者数	割合
よく知っている	86	37.1%
ある程度知っている	123	53.0%
あまり知らない	23	9.9%
全く知らない	0	0.0%
合計	232	100.0%



Q 2 3. あなたは「3010運動」を知っていますか。

令和7年度

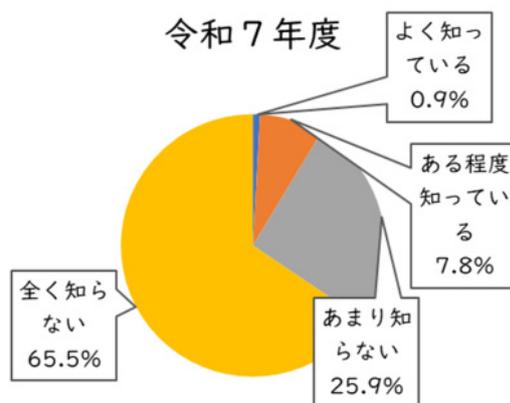
選択肢	回答者数	割合
よく知っている	24	10.3%
ある程度知っている	35	15.1%
あまり知らない	50	21.6%
全く知らない	123	53.0%
合計	232	100.0%



Q 2 4. あなたは「mottECO」(モッテコ)を知っていますか。

令和7年度

選択肢	回答者数	割合
よく知っている	2	0.9%
ある程度知っている	18	7.8%
あまり知らない	60	25.9%
全く知らない	152	65.5%
合計	232	100.0%

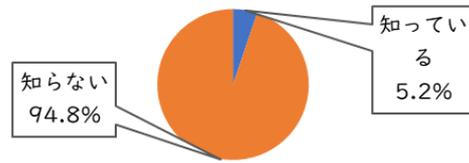


Q25. あなたは「食べ残し持ち帰り促進ガイドライン」を知っていますか。

令和7年度

選択肢	回答者数	割合
知っている	12	5.2%
知らない	220	94.8%
合計	232	100.0%

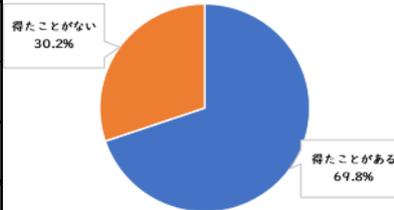
令和7年度



Q26. あなたは、メディアを通して食品ロスに関する情報を得たことがありますか。

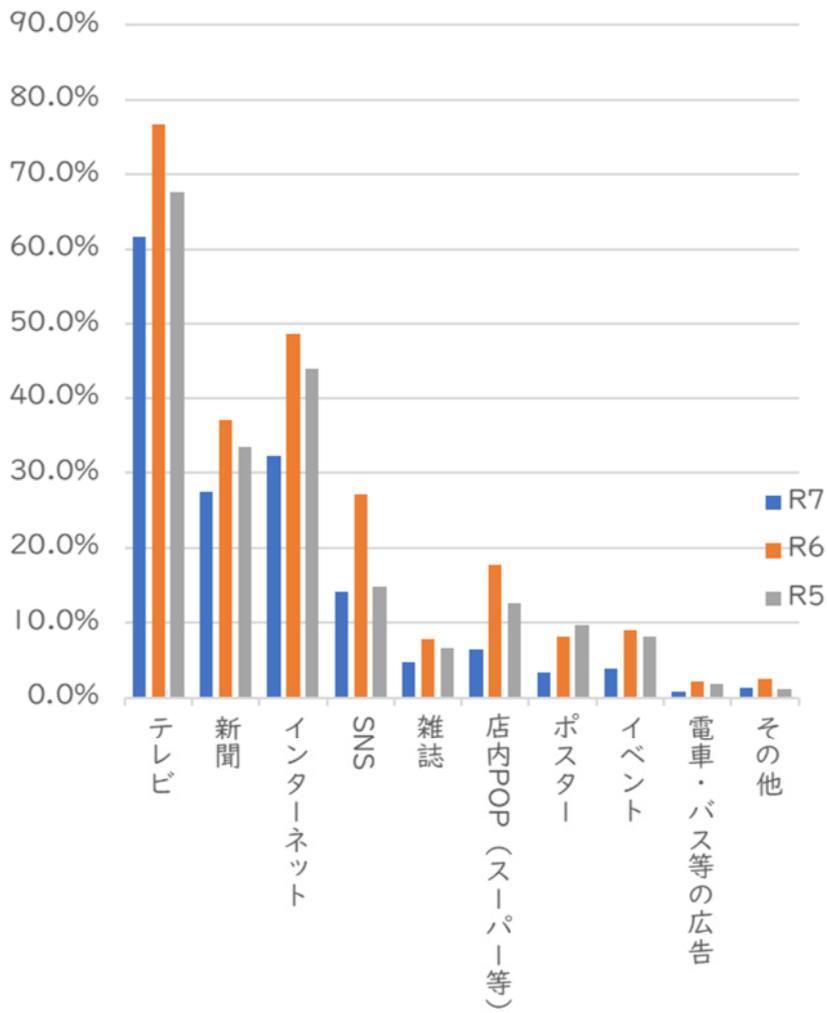
令和7年度

選択肢	回答者数	割合
得たことがある	162	69.8%
得たことがない	70	30.2%
合計	232	100.0%



Q27. あなたは、どのメディアを通して食品ロスに関する情報を得たことがありますか。(複数回答可)

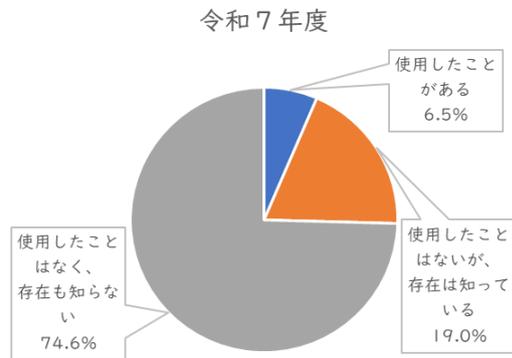
選択肢	回答者数	割合		
		R7	R6	R5
テレビ	143	61.6%	76.7%	67.7%
新聞	64	27.6%	37.1%	33.5%
インターネット	75	32.3%	48.7%	43.9%
SNS	33	14.2%	27.2%	14.9%
雑誌	11	4.7%	7.8%	6.7%
店内POP(スーパー等)	15	6.5%	17.7%	12.6%
ポスター	8	3.4%	8.2%	9.7%
イベント	9	3.9%	9.1%	8.2%
電車・バス等の広告	2	0.9%	2.2%	1.9%
その他	3	1.3%	2.6%	1.1%
<その他の回答> ・ラジオ				



Q28. あなたは、食品ロス削減に関連するアプリ等を使用したことがありますか。

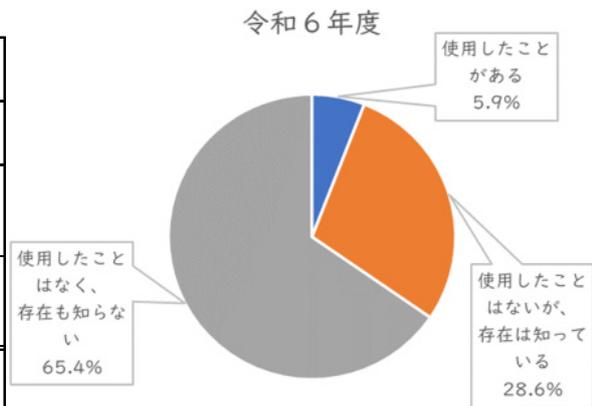
令和7年度

選択肢	回答者数	割合
使用したことがある	15	6.5%
使用したことはないが、存在は知っている	44	19.0%
使用したことはなく、存在も知らない	173	74.6%
合計	232	100.0%



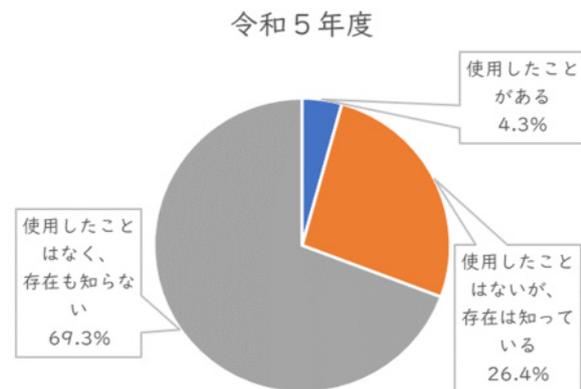
令和6年度

選択肢	回答者数	割合
使用したことがある	16	5.9%
使用したことはないが、存在は知っている	77	28.6%
使用したことはなく、存在も知らない	176	65.4%
合計	269	100.0%



令和5年度

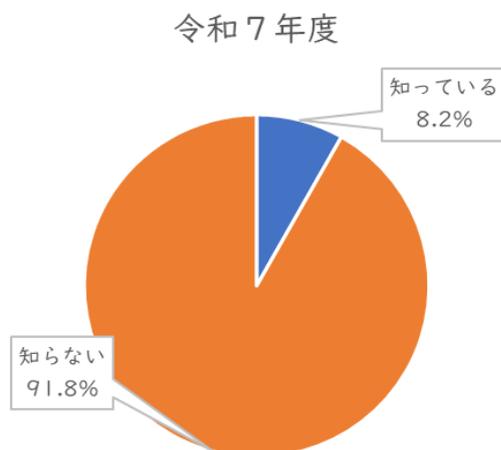
選択肢	回答者数	割合
使用したことがある	12	4.3%
使用したことはないが、存在は知っている	73	26.4%
使用したことはなく、存在も知らない	192	69.3%
合計	277	100.0%



Q29. あなたは、令和3年3月に策定された「長崎県食品ロス削減推進計画」を知っていますか。

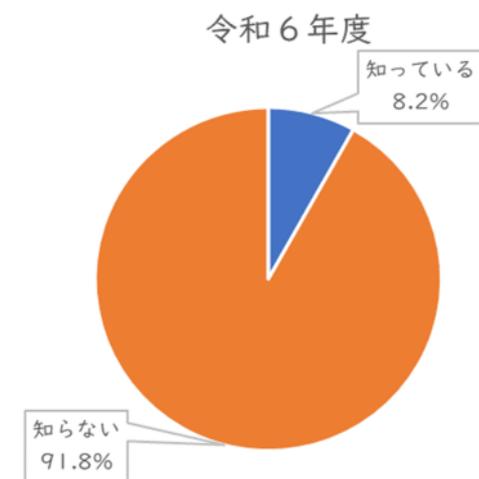
令和7年度

選択肢	回答者数	割合
知っている	19	8.2%
知らない	213	91.8%
合計	232	100%



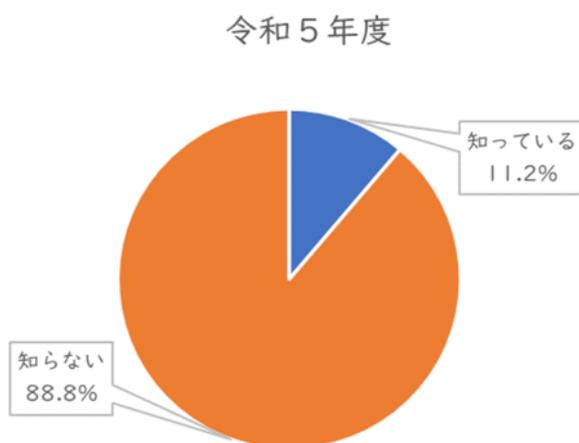
令和6年度

選択肢	回答者数	割合
知っている	22	8.2%
知らない	247	91.8%
合計	269	100%



令和5年度

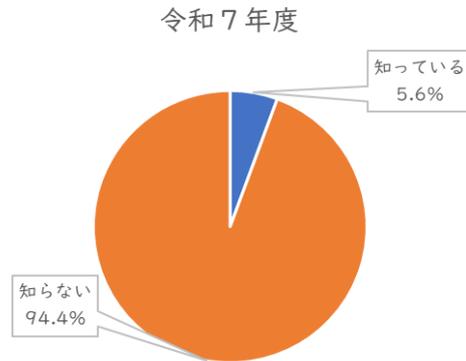
選択肢	回答者数	割合
知っている	31	11.2%
知らない	246	88.8%
合計	277	100%



Q30. あなたは、「九州食べきり協力店」を知っていますか。

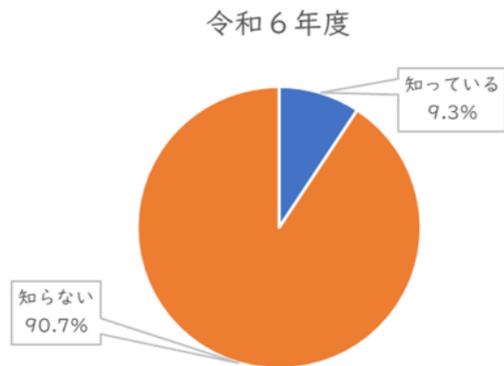
令和7年度

選択肢	回答者数	割合
知っている	13	5.6%
知らない	219	94.4%
合計	232	100.0%



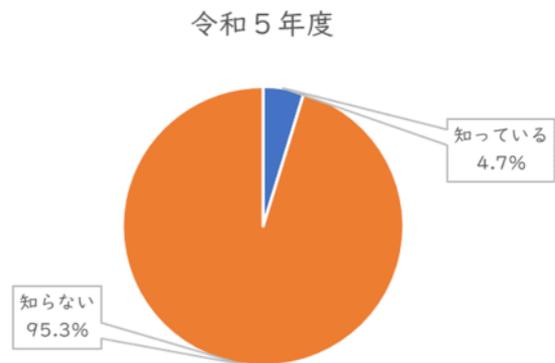
令和6年度

選択肢	回答者数	割合
知っている	25	9.3%
知らない	244	90.7%
合計	269	100.0%



令和5年度

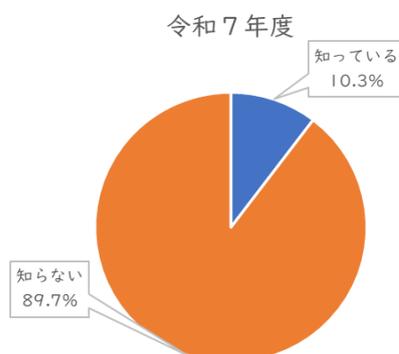
選択肢	回答者数	割合
知っている	13	4.7%
知らない	264	95.3%
合計	277	100.0%



Q31. あなたは、10月が「食品ロス削減月間」であることを知っていますか。

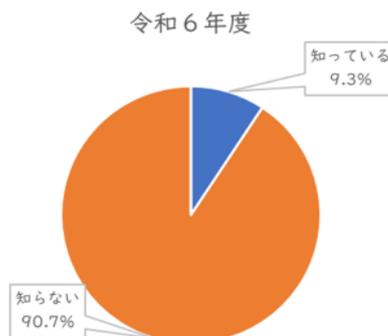
令和7年度

選択肢	回答者数	割合
知っている	24	10.3%
知らない	208	89.7%
合計	232	100%



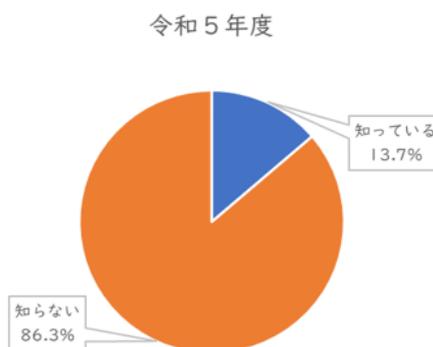
令和6年度

選択肢	回答者数	割合
知っている	25	9.3%
知らない	244	90.7%
合計	269	100%



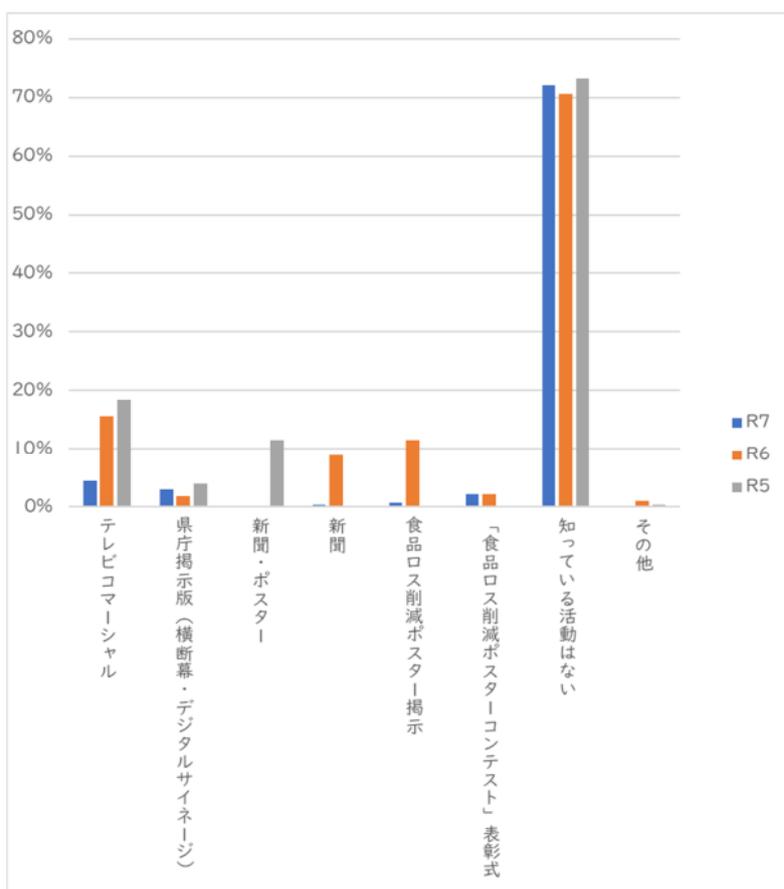
令和5年度

選択肢	回答者数	割合
知っている	38	13.7%
知らない	239	86.3%
合計	277	100%



Q32. あなたは、令和6年の「食品ロス削減月間」に長崎県が取り組んだ啓発活動のうち知っている内容がありますか。当てはまるものを全てお選びください。

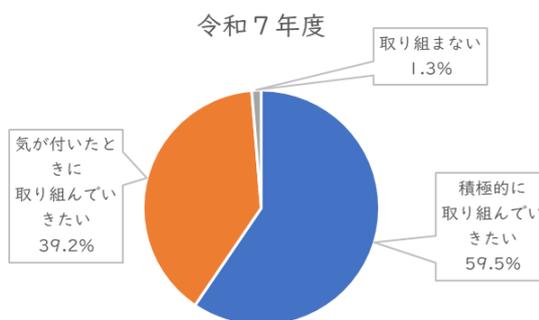
選択肢	回答者数	割合		
		R7	R6	R5
テレビコマーシャル	12	4.5%	15.6%	18.4%
県庁掲示版（横断幕・デジタルサイネージ）	8	3.0%	1.9%	4.0%
新聞・ポスター	9	—	0.0%	11.6%
新聞	1	0.4%	8.9%	—
食品ロス削減ポスター掲示	2	0.7%	11.5%	—
「食品ロス削減ポスターコンテスト」表彰式	6	2.2%	2.2%	—
知っている活動はない	194	72.1%	70.6%	73.3%
その他	0	0.0%	1.1%	0.4%



Q33. 「食品ロス」を減らすために、今後どのように取り組もうと思いますか。

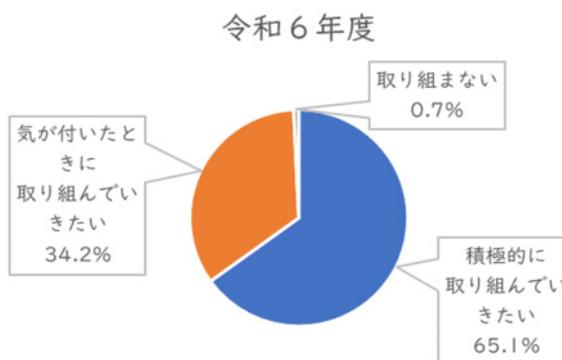
令和7年度

選択肢	回答者数	割合
積極的に取り組んでいきたい	138	59.5%
気が付いたときに取り組んでいきたい	91	39.2%
取り組まない	3	1.3%
合計	232	100%



令和6年度

選択肢	回答者数	割合
積極的に取り組んでいきたい	175	65.1%
気が付いたときに取り組んでいきたい	92	34.2%
取り組まない	2	0.7%
合計	269	100%



令和5年度

選択肢	回答者数	割合
積極的に取り組んでいきたい	183	66.1%
気が付いたときに取り組んでいきたい	93	33.6%
取り組まない	1	0.4%
合計	277	100%

